

熱帯スイレン温室の明装工事後の復旧

平井健一郎・荒木大蔵

はじめに

2018年6月下旬～12月まで熱帯スイレン温室明装工事を施工した。それに伴い温室内の植物を鉢やプランターへ掘り上げ、大温室西側の屋外で、オオオニバス類は大温室正面の屋外に設置したターポリン製の仮設プールで（栽培記録40号参照）、熱帯スイレンは大温室正面池内で管理した。

明装工事が終了した2018年12月中旬以降順次温室内の植栽復旧作業に取り組んだ。表1にその概要を記す。以下に表中の○付き番号の作業について記す。

- ① 明装工事の支障となることから他所で仮置きしていた食虫植物の模型を元の場所に再設置した（写真1）。



写真1 食虫植物の模型移設

大温室上段の熱帯スイレン温室との連絡部近くに仮設していた食虫植物を、熱帯スイレン温室上段へ移設・再設置した。食虫植物の仮設時大温室改修で不要となった溶岩を活用していた。食虫植物コーナー復旧に際し、そのほとんどは利用しなかったが、ムシトリスミレの仲間 *Utrichuralia gigantea* の葉片から成長した株が着いている大きな溶岩は熱帯スイレン温室の当該展示箇所に移設した。

- ② 工事前に予めオオオニバス類植栽柵は上部の根が張っていた土を、熱帯スイレン植栽柵

は用土の半分近くを取り除き、工事期間中は塗装片やサジ等が植え柵に混入しないよう委託業者によりブルーシートが掛けられた（写真2）。



写真2 ブルーシートをかけて施工（撮影：足場撤去後）

工事終了後は、入園者が通路から観察できる上池から植栽を始めた。造園業者から購入した甘日市市上平良産田土を培養土として利用し、予め18ℓの土袋に袋詰めして用意した。

掘り上げ・移植時植栽柵深部まで根の伸長が見られなかったことから、植栽柵には当初の量よりも少なめの田土4～7袋を充填し、ペレックス8号2掴み、カルエース1掴みを混和した（写真3）。



写真3 植付用土調整

未整備の下池が来園者の視界に入らないよう、12月下旬までシルバーの寒冷紗でカーテンを設置して隠した(写真4)。



写真4 シルバー寒冷紗で目隠し

オオオニバス類植栽柵は購入した田土を同様の理由から当初の量よりも少なめに充填し、ペレックス8号10掴み、カルエースをその半量の5掴み混和し均一になるよう隅々まで4本鍬で耕した。

- ③ 熱帯スイレンの植え付けに際し、予め補水し湛水した上で1月下旬から植え付けを開始した。上池はラベルを付け品種を紹介している。できるだけ花色が重複しないよう吟味しながら植栽し、空植栽柵が無いよう複数鉢がある品種は近接する植栽柵に植栽した。ラベルの表示も読みにくいものは更新した。

下池の植栽は、正面と西の植栽柵には *Victoria amazonica* を、東の植栽柵には在来の *Victoria cruziana* を定植した。

熱帯スイレンについては

- i) 花色が偏らない
 - ii) 夜開性スイレンは除くか最奥(南)へ配置するよう配慮しながら植え付けた。
- ④ 池周辺の植物は、工事に伴い鉢やプランターに掘り上げ、夏季は大温室西側の屋外で、冬季は大温室内西側擁壁上に持ち込み管理した。工事終了後は移設前と同様の上池、下池周辺の当該植栽場所に持ち込み、鉢もしくはプランターのまま仮設置した。

ツル植物の一部(ツンベルギア ラウリフォリア、ツンベルギア ラウリフォリア ‘オーガスタス・ブルー’、ペトレア ウォルビリス アルビフロラ、カエンカズラ、ニンニクカズラ、アサヒカズラ)は切り詰め、挿し木を

していたが植栽柵に植えていた何れの株も出芽した。ノランティア ブラジリエンシスは工事着工前に予め取り木を施し、小苗を確保しておいた。なお、下池西植栽区のノランティアは枯死した。

また、下池南植栽区に切り詰めた地植えのハイビスカスは枯死したが、上池西植栽区とオオオニバス解説パネル下の地植えのクロトンは生存しており芽吹いた。

上記2種はガラス張替えに伴い、厳寒期に温度が十分確保できなかったためと思われる。

- ⑤ 大温室をメイン会場として開催したが、隣室の熱帯スイレン温室が復旧途中で植物も見栄えに欠けることから、ストレリチア オーガスタ、クロトン、スパシフィラム、グズマニア、アンスリウムを購入し、ドラセナ2種各25鉢をレンタルした。
- ⑥ 定植時元肥を施肥、1月の定植後3月上旬から毎月2回(上旬・中旬)の定期的な施肥を開始した。3月上旬の時点で *Victoria*、熱帯スイレン共に生育が旺盛で葉が水面を埋め尽くすほどであった。その生育を維持すべく、3月上旬から施肥量を通常の1.5倍増し(東商の固形発酵油粕(大)を *Victoria* 40個/株、*Nymph* 10個/株)とした。
- ⑦ 4月17日に岡山半田山植物園から *V. cruziana* 2株を受領し、うち1株を5月27日に *V. amazonica* を植え付けていた正面木枠植栽柵に定植した。掘り上げ・撤去した *V. amazonica* は土箱に移植し養成した。
- ⑧ 7月上旬、西の木枠植栽柵に定植していた *V. amazonica* の葉が肥料あたりと思われる奇形を生じたため、固形の油粕の施肥を中止した。他の株についても3月上旬からの施肥量から半量に減じた(7月中旬施肥分)。奇形を呈した西木枠植栽柵の *V. amazonica* は12月に入り元の状態に戻ったので、通常量の施肥(固形油粕大20個)を再開した。
- ⑨ 4日間開催したが、何れの試乗会も正面木枠植栽柵に定植した岡山半田山植物園より導入した *V. cruziana* 株の径103~112cmの葉を使用した(写真5)。



写真5 試乗会

じめ、一株しか咲かなかった場合は自花受粉 self cross、二株咲いた場合は他家受粉 sibling cross で採種に努めた。植栽枡に定植した *V.amazonica* は肥料あたりと思われる奇形を呈していたが、開花に至り、花粉を確認した。土箱で養成していた *V.amazonica* も開花に至り、土箱で養成した株しか咲かなかった場合は自花受粉、二株咲いた場合は他家受粉で採種に努めた。また、何れの株も花粉親として交雑し、ロングウッドオオオニバスの採種に努めた。

⑩ 試乗会終了後、開花・交配の作業に取り掛かった。*V.cruziana* は9月16日に交配をは

表 熱帯スイレン温室 復旧作業 概要

月	12			1			2			3			4			5			6					
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
栽培・管理 作業内容	● 下池シルバー寒冷紗設置・ハエトリソウ模型移設・大温室に仮設置した食虫植物熱帯スイレン温室へ再設置①			● 田土納品 ● <i>Victoria</i> ・ <i>Nymph.</i> 植栽枡用土搬入②			● 補水開始 <i>Victoria</i> , <i>Nymph.</i> 植付③			● 定植後初施肥⑥			● <i>Victoria cruziana</i> 2株 岡山半田山植物園より受領									● <i>V.cruziana</i> 岡山半田山植物園導入株定植⑦		
展示会/イベント				→ 周辺植栽の復旧④			● 世界の蘭と熱帯の花フェスタ⑤																	
委託業務													● ハエトリソウ・ウツボカズラ模型移設											

月	7			8			9			10			11			12		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
栽培・管理 作業内容	● <i>V.amazonica</i> 奇形→施肥中止⑧						● <i>Victoria cruziana</i> , <i>amazonica</i> 交配・自殖⑩			● <i>Nymph.</i> の植栽枡深く施肥開始						● 下池植替え 植栽の復旧④		
展示会/イベント				● オオオニバス試乗体験会⑨														
委託業務	● 上池清掃業務															● 下池清掃業務		